

第6章 冠詞を決めるもの(その1):名詞

冠詞は、名詞と文脈(コンテキスト)によって決まります。

このことは、冠詞の使い方の基本を思い出ししてみればわかります。「数えられる名詞が単数の場合はaを付ける」というのは、「aを付けるかどうかは、後ろの名詞によって決まる」ということです。「すでに話題に出てきた名詞にはtheを付ける」というのは、「theを付けるかどうかは、会話や文章の流れの中で決まる」、つまり、「文脈によって決まる」ということです。

ルールは簡単なのですが、私たちは、「可算名詞の単数形にはaを付ける」、「既出の名詞にはtheを付ける」という基本ですら十分に使いこなしていません。これは、「名詞」や「文脈」についてきちんと考えていない、理解していないからです。

そこで、この章(そして8章)では、「名詞」と「文脈(コンテキスト)」について取り上げてみたいと思います。

(1) 「冠詞」と「名詞」

aを使うか、theを使うか、ゼロ冠詞にするか——みなさんは常に悩んでいることでしょう。冠詞の選択は、後ろに置かれる名詞から大きな影響を受けるので、「後ろの名詞をどうとらえているか」によって変わってきます。

Part 1で出てきたa carとby carの例(4章(8))を思い出しみましょう。英語を習いはじめた頃は、

car → 車 →



というふうに、一度日本語に置き換えて、それから具体的なモノを思い浮かべていました。

でも、“car”という単語を繰り返し使っているうちに、日本語訳より先に“車の絵”が思い浮かぶようになり、そのうち日本語には置き換えなくなります。これが「英語で考える」ことの第一歩です。

“car”という単語を使うには、冠詞などの決定詞を付けるか、複数形にするか、あるいは、「ゼロ冠詞」にしなければなりません。そして、それを判断する基準が、

「“car”という単語の中に、“自動車”のどのような面を見ているのか」

という話者の意識です。カッコいい車、ピカピカに磨き上げられた高級な車、というような、**モノとしての面**を見ているのでしょうか。それとも、「移動する」ときの乗り物(つまり、手段)としてとらえているのでしょうか。

それによって冠詞の付け方が変わってきます。

by car(車で)という表現では、交通手段としての車に焦点が当てられるので、カタチとしてのイメージは弱くなっていきます。そこで、この表現では、carにはaを付けないのです。4章(6)では、これを「動詞には冠詞は付けない」という言い方で説明しました。

あるいは、私たちは車に「乗って」移動します。自動車に乗っているとき、自分の乗っている車のカタチは見えていない、というような考え方をしてもいいかもしれません。

それに対して、I want to buy a car.と言うときのa carは、私の